

第1節 環境啓発事業

1 環境学習会の開催

小瀬川干潟観察会

▼目的

干潟観察会を開催することにより、市民等に小瀬川河口の干潟に生息する生きものを知ってもらうとともに、その生態等を学んでもらうことで、環境の保全に関する認識及び関心並びに本市の環境について理解を深めることを目的に実施しました。

▼主催

大竹市市民生活部環境整備課

▼実施期日

令和4年8月11日（木・祝）
午後1時30分～午後4時30分

▼実施場所

大竹市東栄「小瀬川河口の干潟」及び「大竹市リサイクルセンター管理棟内会議室」

▼参加人数

大人・22名、子ども・30名
合計・18組、52名

▼実施内容

生きものの採集

講師によるアドバイスを受けながら生きものを捕まえました。

分類作業

参考資料を見ながら、捕まえた生きものを分類しました。

解説

捕まえた生きものの名前や生態等を講師が解説しました。

実験

干潟に生息する生きものを用いた実験を行いました。

▼成果

アサリやクロダイといったなじみ深い種を含む生きものの観察を通じて、大竹市の環境の現状を認識してもらうとともに、環境保全に対

する関心を高めることができました。

また、家族での参加が多かったことから、「一家団らんの時間」の増加に寄与することができたと考えています。

阿多田島環境観察会

▼目的

環境観察会を開催することにより、市民等に水生生物が多く生息する環境があることや、沿岸における海洋ごみの現状を知ってもらうとともに、海洋ごみが生態系に与える影響について理解や関心を深めることを目的に実施しました。

▼主催

大竹市市民生活部環境整備課

▼実施期日

令和4年12月3日（土）
午前9時00分～午後4時30分

▼実施場所

大竹市阿多田島「地先海域」及び「阿多田島漁業協同組合3階研修室」

▼参加人数

大人・21名、子ども・27名
合計・18組、48名

▼実施内容

生きものの観察

水中ドローンを使用した海中の観察と、干出した岩場周辺での目視観察を行いました。

マイクロプラスチックの観察

砂浜で砂を採集し、その砂の中に含まれるプラスチックの種類や量を選別調査しました。

解説

プラスチックごみの起源や生きものへの影響を講師が解説しました。

▼成果

海にたくさんの種類の生きものが生息していること、また、海ごみが生きものへ与える影響を認識してもらうことを通じて、環境保全への関心を高めることができました。

また、家族での参加が多かったことから、「一

第5章 環境啓発の推進

家団らんの時間」の増加に寄与することができたと考えています。

2 広報活動

▼概要

本市の環境の状況を知ってもらうため、環境測定数値や環境啓発事業の紹介記事を市広報等に掲載しました。

▼実施内容

- ①市広報による啓発
- ②市ホームページによる啓発

第2節 環境保全活動の連携・参加

ひろしま環境の日

▼概要

国は、6月5日を「環境の日」、6月を「環境月間」と定めています。また、県は、地球温暖化防止のため、一人ひとりの環境意識を高め、行動してもらうことを目的に、毎月第1土曜日を「ひろしま環境の日」と定めています。

本市では、これを踏まえ、環境保全への取組を啓発するために、広島県が定めた「ひろしま環境の日における一斉行動」を「広報おおたけ」に掲載しました。

▼実施期日

毎月

▼対象

市民

工場周辺等一斉清掃活動

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

ライトダウンキャンペーン

▼概要

地球温暖化防止及び省エネへの取組の一環として、市職員に対しノー残業デーの取組を実施し、市庁舎等のライトダウンを行いました。

▼実施期日

令和4年6月21日（火）夏至の日

令和4年7月7日（木）七夕

▼実施場所

市庁舎等の公共施設

おおたけクリーンキャンペーン

▼概要

「きれいで快適なまちづくり」を目的とし、自治会等が個別に行っていた地域清掃を、9月の第4日曜日に統一して行うことで、住民等の清掃意識を高めました。

▼共催

大竹市公衆衛生推進協議会

大竹市市民生活部環境整備課

▼実施期日

令和4年9月24日（日）

▼実施場所

大竹市全域